MITSUBISHI ELECTRIC

三菱 衣類乾燥 除湿機（家庭用）
取扱説明書

形名

エム　ジェー　ピー　　ゼットエックス

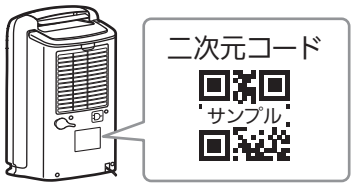
MJ-P180ZX

製品登録のご案内

ご購入製品の登録をしていただくと、製品に関するサポート情報や生活に役立つ情報などを提供させていただきます。

二次元コードから登録

本体背面の二次元コードを読み取ると、形名と製造番号を入力することなくカンタンに登録いただけます。



Webから登録

「三菱電機製品登録」で検索してください。

三菱電機製品登録　検索

もくじ

ページ

使うまえ

- 特長…… 2
- **安全のために必ずお守りください**… 3
- お願い…… 5
- 知っておいていただきたいこと…… 5
- 各部のなまえとはたらき…… 6
- 切り忘れ防止機能…… 7
- 準備する…… 8

使いかた

- 除湿のしかた…… 9
- 衣類乾燥のしかた…… 12
- ルーバーの使いかた…… 14
- タイマーの使いかた…… 15
- 内部クリーン運転のしかた…… 16
- 排水のしかた…… 17
- 連続排水のしかた…… 18

こんなとき

- お手入れ…… 19
- 保管のしかた・消耗部品の交換…… 20
- 故障かな？と思ったら…… 21
- 保証とアフターサービス…… 23
- 仕様・廃棄のしかた…… 裏表紙

- ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、ご家族全員で正しく安全にお使いください。
- 「保証書」は「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
- 「取扱説明書」と「保証書」は、大切に保存してください。

この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

This appliance is designed for domestic use in Japan only and cannot be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

本產品只限日本國內使用，
日本國外將無法使用也無法做售後服務。

特長

大容量ハイパワー除湿
18.0L/日(60Hz時)

冬モード＋自動霜取で
冬でもパワフル運転

停電時も安心！
停電前の運転モードで自動復帰
停電復帰機能

トリプルバリアフィルターで
清潔除湿

たまった水の量がひと目でわかる
水位目盛付タンク

移動範囲が広がる
3mロング電源コード

使いかたいろいろ

除湿する

P9～11

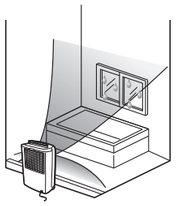
● 室温に応じた快適な湿度を自動で判断して除湿する
「自動除湿」

● 湿度を設定して除湿する
「湿度設定」

● 風量強めで連続で除湿する
「強」
● 風量弱めで連続で除湿する
「弱」
除湿機の背面をクローゼットなどに向けてください。

● 浴室を除湿する
「浴室カビガード」

除湿機の前面を
浴室に向けてください。



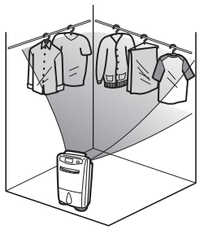
● 室温が低いときに除湿する
「冬モード」

衣類を乾かす

P12～13

● 速く乾かす
「標準」

風が洗濯物に当たる
ようにしてください。



● 夜、静かに乾かす
「夜干し」

安全のために必ずお守りください

■お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った取扱いをした場合に生じる危険と
その程度を、次の区分で説明しています。

⚠ 警告	⚠ 注意
誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があるもの。	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

■本文中や本体に使われている図記号の意味は、次のとおりです。

禁止	分解禁止	指示を守る	本体表示
火気禁止	水ぬれ禁止	電源プラグを抜く	回転物注意

⚠ 警告

禁止

■電源コード・電源プラグを
傷つけない

加工したり根元を曲げたりしない、
ねじらない、折らない、物をのせない、
加熱しない、コードを束ねたまま
使用しない
（ペットのかみつきにもご注意ください）
感電・ショート・発火の原因

■いたんだ電源コードや
電源プラグ、差し込みのゆるい
コンセントは使用しない
感電・ショート・発火の原因

■電源コードをタコ足配線しない

他の器具と併用すると、
分岐コンセントが異常発熱して、
火災・感電の原因

■電源プラグの抜き差しにより、
運転を停止させない
感電・ショート・発煙・発火の原因

■吹出口や吸込口に指や棒などを
入れない

内部でファンが高速回転しているため、
けがの原因

■スイングしているルーバーに
さわらない

内部でファンが高速回転しているため、
けがの原因

禁止

■体に吹出風を長時間あてない

特に、自分で湿度調節できない方
（乳幼児・お子さま・お年寄り）が
使用するときは注意する

吹出風を体に長時間あてると、
体調不良や脱水症状をおこす原因

分解禁止

■修理・分解・改造はしない

修理はお買上げの販売店
または「三菱電機 修理窓口」に
ご相談ください。P23

火気禁止

■発熱器具（ストーブやファンヒーターなど）の近くに置かない

樹脂部分が溶けて**引火するおそれ**

指示を守る

■電源は交流100Vで定格15A以上
のコンセントを単独で使う

※延長コードも、定格15A以上のものを
単独でお使いください。

■電源プラグのほこりを取り除き、
刃の根元まで確実に差し込む

電源プラグにほこりがたまると、
湿気などで絶縁不良となり、**火災の原因**

■異常時・故障時には、
ただちに使用を中止する

- 本体・電源コード・プラグが異常に熱い
- 運転中異常な音や振動がする
- コゲ臭い
- ブレーカーがひんぱんに落ちる
- 本体から水が漏れる
- その他の異常や故障がある

すぐに電源プラグを抜いて、
お買上げの販売店
または「三菱電機　修理窓口」に
ご相談ください。P23

安全のために必ずお守りください

⚠注意

禁止

■電源プラグをぬれた手で抜き差ししない
感電の原因

■吹出口や吸込口を、洗濯物・布・カーテンなどでふさがない
風通しが悪くなり、**発火・発熱の原因**

■除湿機の上に花瓶などの水の入った容器を載せない
内部に浸水して電気絶縁が劣化し、**感電・漏電火災の原因**

■直射日光や風雨の当たる場所で使用しない（屋内専用です）
過熱や感電・漏電火災の原因

■押し入れの中・家具の隙間など、狭い場所で使用しない
風通しが悪くなり、**発火・発熱の原因**

■吹出風が直接あたる所で燃焼器具を使用しない
燃焼器具の**不完全燃焼の原因**

■薬品を扱う場所で使用しない（病院、工場、実験室、美容院など）
- 引火や本体への吸引による**発火や発煙の原因**
- 空気中に溶けた薬品や溶剤により除湿機が劣化（ひび割れ）して水もれし、**家財などをぬらす原因**

■油・可燃性ガスを使ったり、もれるおそれのある場所に設置しない
引火や本体への吸引による**発火や発煙の原因**

■食品や美術品・学術資料などの保存や、業務用に使用しない
保存品の**品質低下の原因**

■除湿機の上に乗らない、腰掛けない、寄りかからない、吹出口に手をかけて引っぱらない
キャスターがついているため本体が動き、転倒・落下して、**けがの原因**

■フロートや、フロート内部の発泡スチロールをはずさない
タンクが満水になっても運転が止まらず、**家財などをぬらしたり、感電・漏電の原因**

■ホースの周囲が氷点下になる場所で連続排水しない P18
ホース内部の水が凍結し、除湿した水がもれて**家財などをぬらす原因**

■ベンジン・シンナー・消臭剤・除菌剤・殺虫剤・可燃性スプレーなどで拭かない、吹き付けない、近くに置かない
火災・変形・冷媒漏れ・水漏れ・感電・引火の原因

水ぬれ禁止

■浴室など水のかかりやすい場所で使用しない、水洗いしない
水がかかると**漏電火災や感電の原因**

指示を守る

■水平で丈夫な場所に設置する
使用中に除湿機が倒れると内部の水がもれて**家財などをぬらしたり、漏電火災・感電の原因**

■タンクにたまった水は捨てる
誤って飲んだり、他の用途に使用すると、**病気や思わぬ事故の原因**

■移動するときは運転を停止し、タンクの水を捨てる
タンクの水がもれて**家財などをぬらしたり、感電・漏電の原因**

■タンクの水を捨ててから、ハンドルをしっかり持って移動する
転倒などにより、**けがや床を傷つける原因**

■電源プラグを持ってまっすぐ引き抜く
ななめに引き抜いたり、コードを持って抜くと、プラグの刃や芯線が破損して**ショート・感電・発火の原因**

■連続排水する場合はホースのつまりや折れ曲がり・落差などに注意し、確実に排水できるように配管する P19
除湿した水がもれて**家財などをぬらす原因**

■連続排水するときや、無人で長時間使用するときは、2週間に1回程度点検する
エアフィルターやホース内に異物や汚れがつまると、**除湿運転をしなくなったり、水もれの原因**

電源プラグを抜く

■掃除をするときは運転を停止し、電源プラグを抜く
内部でファンが高速回転しているため**けがの原因**

■長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く
漏電火災・感電の原因

お願い

■本体を倒さない
倒すとタンクの水が本体内部に入り、**故障の原因**になります。万一、倒してしまった場合は、お買上げの販売店にご相談ください。

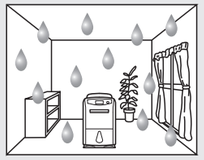
■本体を横に寝かせて運ばない・保管しない
故障の原因になります。

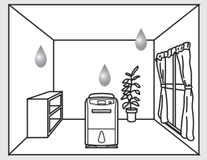
■運転を始める前にタンクを空にする
タンクはおよそ6時間で満水となります（室温27℃　相対湿度60%の場合。実使用環境下とは異なります）。連続排水する場合はホースをつなげてご使用ください。P18～19

知っておいていただきたいこと

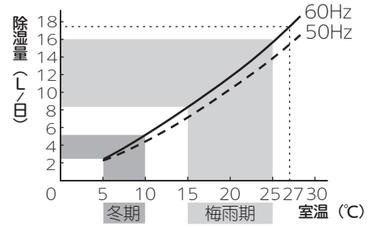
●冬は、除湿量が少なくなります。

温度・湿度が下がると、除湿量は少なくなります。
気温が低い冬期は、湿度が高くても右のグラフのように、梅雨時期に比べて除湿量が大幅に減ります。
タンクに水がたまりにくくなりますが、故障ではありません。


梅雨期（夏期）


冬期

<湿度が60%のとき、「強」での値>



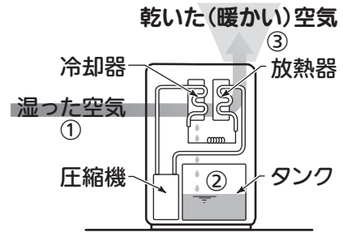
グラフの除湿量は、一定の室温・湿度にて測定した値であり、実際の使用条件とは異なります。

●運転中は温風が出るため、室温が2～4℃上がることがあります。

除湿機からは暖かい風が出ますが、故障ではありません。
冬期など気温が低いときは、吹出す風の温度が体温よりも低いため、暖かく感じないことがあります。

除湿のしくみ

コップに冷たい水を注ぐと、まわりの空気が冷やされて、コップの表面に水滴がつきます。
除湿機はこの現象を利用し、湿気を取り除きます。
①部屋の空気を吸込み、冷却器で冷やして湿気を水滴に変えます。
②水滴はタンクに落ちます。
③**除湿された空気は放熱器を通り、暖められてから吹出します。**
この①②③の繰返しで部屋の湿気を取り除きます。

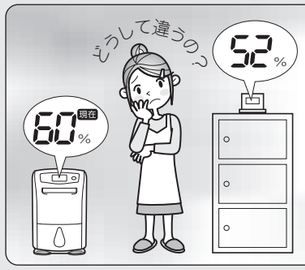


●運転可能な室温は、1～40℃です。

ただし、室温が約35℃を超えると送風運転になったり、風量が増える場合があります。本体内部の温度が上がり、保護装置が働くためです。本体内部の温度を下げるために、ルーバーのスイングを停止し、ルーバーを垂直にしてお使いください。
- 1℃未満になると、除湿した水の凍結防止のため、送風運転になります。

●部屋の湿度計と除湿機の湿度表示が異なることがあります。

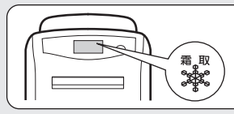
湿度表示はめやすとしてお使いください。



<原因>
- 温度・湿度ムラがある
- 設置場所の違い
- 湿度計の精度の違い

●室温が約15℃以下になると、「霜取運転」します。

多いときで約40分に1回、「霜取」を表示して自動的に送風（除湿）を停止し、本体内部についた霜をとかしてタンクに落とします。
10分程度で運転を再開しますので、しばらくお待ちください。



- ルーバー停止
- 送風（除湿）停止
- 運転音が変化

海浜地区で潮風が直接当たる場所や、温泉地帯、油煙が多い場所、カビ取り剤（塩素系）を使用した場所など、周囲の環境が特殊な場所でご使用になると、故障の原因になる場合があります。

各部のなまえとはたらき

本体前面

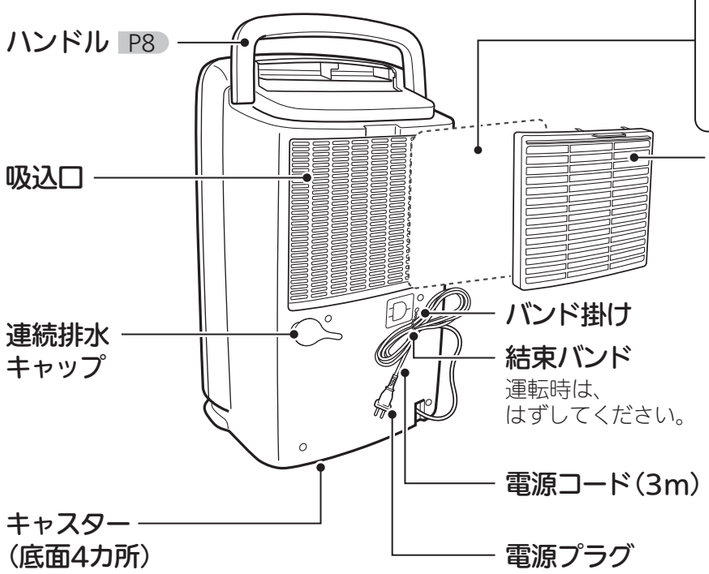
- ルーバー P14
- 吹出口
- 操作部 P7
- 下吹きルーバー P14
- 下吹出口
- 排水ふた（抗菌）
- タンクふた（抗菌）
- センサー部（本体内部）
  ふさがないでください。
- フロート
- タンク
- 水位窓（水位目盛付き）
  タンクの「満水」表示、水位目盛はめやすです。

タンクふた、排水ふたの抗菌について

<試験機関>（一財）ボーケン品質評価機構
<試験方法>JIS Z 2801に基づく
<抗菌の方法>プラスチックに練り込み
<抗菌処理を行っている部品名称>タンクふた、排水ふた
<試験結果>99%以上

お買上げ時、タンクに水滴の跡や水が残っている場合がありますが、工場での除湿テストによるもので異常ではありません。

本体背面



- ハンドル P8
- 吸込口
- 連続排水キャップ
- キャスター（底面4カ所）
- 〈付属品〉トリプルバリアフィルター（1枚） P8・19～20
  ＊以下「エアフィルター」と略します
- フィルターカバー（プラチナ抗菌フィルター一体）
  プラチナ抗菌フィルターは、フィルターカバーから取りはずさないでください。
- バンド掛け
- 結束バンド
  運転時は、はずしてください。
- 電源コード（3m）
- 電源プラグ

プラチナ抗菌フィルターとは

白金ナノコロイドを繊維に練り込んだフィルターです。タバコの煙や、煙に含まれる有害物質の一酸化炭素などは除去できません。

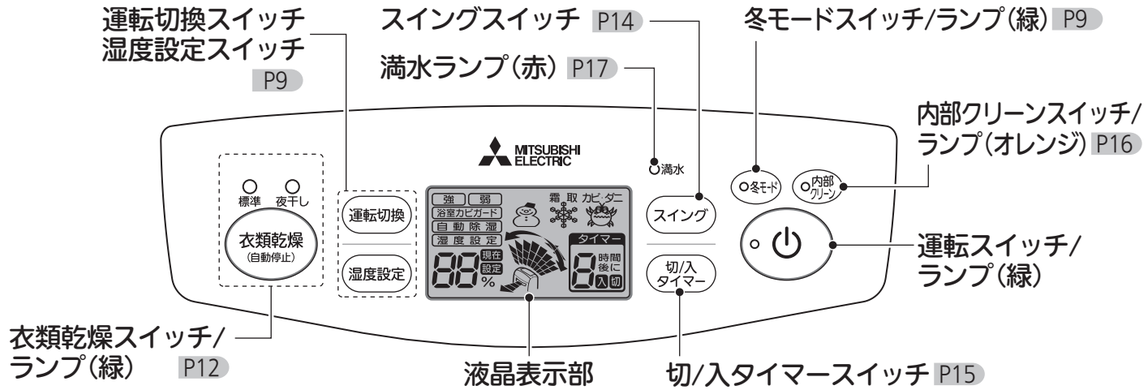
※試験容器内で、58mm角のフィルターで18時間後の試験結果。<試験機関>（一財）ボーケン品質評価機構（旧名称（財）日本紡績検査協会）<試験方法>JIS L1902（菌液吸収法）による。<試験結果>99%以上抑制。（18時間後）<抗菌の方法>ネットフィルターに抗菌成分を練り込み。実使用環境下での効果とは異なります。

トリプルバリアフィルターとは

レーヨン繊維に人工酵素（抗アレルゲン・抗菌・ウイルス抑制）を化学的に固定したフィルターです。
実使用環境下での効果とは異なります。また、タバコの煙や、煙に含まれる有害物質の一酸化炭素などは除去できません。

※抗アレルゲン　<試験機関>（一財）日本食品分析センター　<試験方法>抗原を用いてアレルゲン溶液を調整。検体をアレルゲン溶液に浸漬させた試験液の濃度をELISA kitで測定。　<試験結果>スギアレルゲン 除去率100%　ダニアレルゲン除去率82%　<抗アレルゲンの方法>フィルター繊維に人工酵素を化学的に固定化。
※抗菌　<試験機関>（一財）ボーケン品質評価機構　<試験方法>JIS L 1902 菌液吸収法。　<試験結果>99%以上抑制（18時間後）。<抗菌の方法>フィルター繊維に人工酵素を化学的に固定化。
※ウイルス抑制　<試験機関>（一財）ボーケン品質評価機構　<試験方法>JIS L 1922 繊維製品の抗ウイルス性試験。　<試験結果>99%以上抑制（2時間後）。1種類のウイルスにて試験を実施。　<ウイルス抑制の方法>フィルター繊維に人工酵素を化学的に固定化。

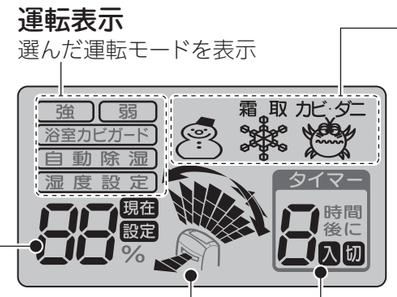
操作部



お知らせ
- この除湿機は、運転モードを記憶しています。
  運転「切」にしても、次回は前回と同じ設定で運転を始めます。
- 運転中に停電した場合は、復帰すると停電前の運転モードで運転を再開します。

液晶表示部

説明のため、液晶表示部はすべて表示してあります。



湿度表示
- 湿度のめやすを表示
- 電源プラグをコンセントに差し込むと現在湿度を表示
- 現在 を表示中は、現在の湿度を表示
  現在湿度は、30～80%まで表示します。
  ・湿度が30%以下のとき→30%を表示
  ・湿度が80%以上のとき→80%を表示
- 設定 を表示中は、設定湿度を表示（湿度設定運転のみ）

運転表示
選んだ運転モードを表示

スイングモニター
スイング方向を表示

タイマー表示

低温表示
運転中に室温が約15℃以下になると、「❄」を表示 P11

霜取運転表示
霜取運転中に「霜取」を表示 P5

カビ・ダニ注意報
運転「切」のときに部屋の湿度が約75%以上になると、「カビダニ」が点滅してお知らせします。
「カビダニ」が点滅したときは、除湿することをおすすめします。
カビダニ注意報を使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

切り忘れ防止機能

- 「強」「弱」「自動除湿」「湿度設定」「冬モード」運転時は切り忘れ防止のため、最後に操作してから12時間経過すると自動で停止します。
- 再度運転を始めるときは、タンクの水を捨ててから運転スイッチを押してください。

お知らせ
内部クリーン運転（自動）を設定している場合、運転停止後に内部クリーン運転をします。P16

切り忘れ防止機能の設定切換え

12時間以上連続で運転したいときは、切り忘れ防止機能をOFFにしてください。

運転「切」のときに

3秒以上音が鳴るまで長押しする

- **切り忘れ防止機能OFFに切換わったとき**
  「ピッ」と鳴り、「湿度表示部」に「oF」が表示
- **切り忘れ防止機能ONに切換わったとき**
  「ピピッ」と鳴り、「湿度表示部」に「on」が表示

※工場出荷時の設定は「ON」です。

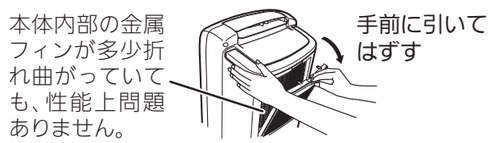
準備する

エアフィルターを本体にセットする

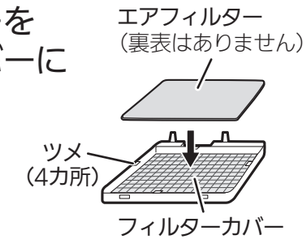
お買上げ時は、エアフィルターが付属されていますので、
本体にセットしてからご使用ください。

1 エアフィルターを袋から取り出す

2 フィルターカバーをはずす



3 エアフィルターをフィルターカバーにセットする



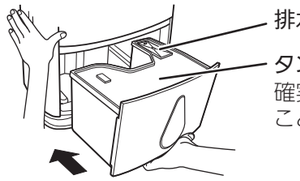
4 フィルターカバーを本体にセットする

下部のツメを本体に差し込み、「カチッ」と音がするまで押し込む

お願い　必ず、エアフィルターを本体に取り付けてください。取り付けないと、細かいほこりが本体内部に入り、故障の原因になります。

タンクを確実に入れる

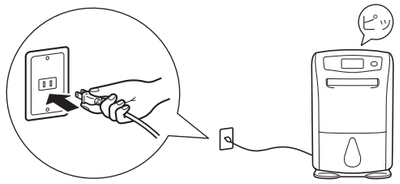
本体をおさえながら奥までしっかり押し込む



お知らせ　タンクが正しく入っていないと、満水ランプが点灯して運転できません。

お願い　排水ふた・タンクふたを確実に取り付けてください。取り付けていないと、タンクが取り出せないことがあります。

電源プラグをコンセントに差し込む



● 現在湿度を表示

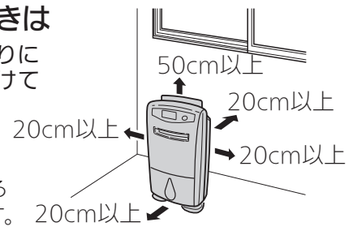
ルーバーが開いている場合は、自動で閉じます。

⚠ 警告

禁止　**電源コードを束ねたまま使用しない**
感電・ショート・発火の原因

設置するときは

除湿機のまわりにスペースをあけてください。



狭い場所で使用すると、性能が低下する原因になります。

＜運転音がひびくときは＞
薄手のマットなどを敷いてお使いください。
振動・騒音を抑えることができます。
畳などのへこみ防止にもなります。

移動するときは

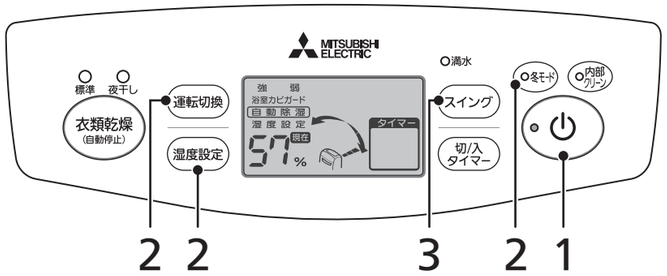
ハンドルをおこして移動する

● キャスターの向きにより動きにくくなる場合があります。
● タンクの水を捨ててから動かしてください。 P17

お願い
● ルーバーを持って移動しないでください。
● 電源コードをキャスターに巻き込まないよう、気をつけてください。また、電源コードを引きずらないでください。電源コードを傷める原因になります。

除湿のしかた

シーンに合わせて運転モードを選べます。



1 ピッ ⏻ を押し、運転を始める

● 運転ランプ点灯
● 運転モードを表示
● ルーバーが開き、送風開始

2 運転モードを選ぶ

■除湿モードを選んで運転したいとき

運転切換 を押す P10～11

● 押すごとに運転モードが切換わる

ピッ 浴室カビガード ▶ ピッ 自動除湿 ▶ ピッ 湿度設定 ▶ ピッ 強 ▶ ピピッ 弱

■湿度を設定して運転したいとき

湿度設定 を押す P11

● 押すごとに設定湿度がかわる

ピッ 70 ▶ ピッ 65 ▶ ピピッ 60 ▶ ピッ 55 ▶ ピッ 50 ▶ ピッ 45 ▶ ピッ 40%

■冬モードで運転したいとき

冬モード を押す P11

3 スイング を押し、スイング方向を選ぶ P14

＜途中で運転を止めたいとき＞

ピー ⏻ を押す

● 運転ランプが消灯
● 運転モードの表示が消える

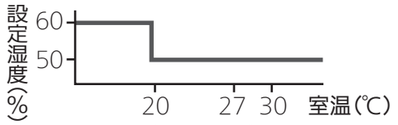
お知らせ
● 「浴室カビガード」以外の運転時は切り忘れ防止のため、最後に操作してから12時間経過すると自動で停止します。 P7
● この除湿機は、運転モードを記憶しています。運転「切」にしても、次回は前回と同じ設定で運転を始めます。
● 「湿度設定」以外では、湿度を設定することはできません。
● タンクが満水になると運転を停止します。運転を再開する場合は、タンクの水を捨ててください。
連続排水ホースをセットしている場合は、連続で運転します。 P18
● 内部クリーン運転（自動）を設定している場合、運転停止後に内部クリーン運転をします。 P16
● 「強」「弱」「冬モード」運転で連続運転を長時間続けると、性能の低下や故障の原因になる場合があります。
長時間運転する場合は、設定湿度に応じて自動で断続運転を行う「湿度設定」運転や「自動除湿」運転でのご使用をおすすめします。

除湿のしかた（運転モードについて）

「自動除湿」運転

ジメジメする不快感を低減するよう、自動的に風量を切換えて断続運転します。
室温が高いときは、送風することで室温の上昇を抑えます。快適な湿度を保ちたいときにおすすめです。

- 設定湿度になると、送風・ルーバーが停止する場合があります。



室温20℃以下では湿度60%、室温20〜27℃では湿度50%に設定を変えて除湿します。

室温27℃以上では、室温の上がりすぎを防ぐため、湿度50%まで除湿したあと送風はしますが、除湿はしません。湿度が60%まで上がると、再び除湿します。

設置のしかた

除湿機を部屋の中に置いて使用します。
（背面を壁に近づけすぎないようにしてください P8）

使用のめやす

お部屋の広さ	50Hz	60Hz
	〜13畳	〜15畳

- 効率良く運転するために、上記の範囲でお使いください。
- お部屋が広いと、設定湿度まで湿度が下がらない場合があります。

「浴室カビガード」運転（自動停止）

浴室内の水滴や湿気を乾かして、カビの発生を抑えたいときにおすすめです。

- 自動的に風量を切換えて運転します。湿度50%まで除湿したあと、約4時間運転して自動停止します。運転時間は温度・湿度によって変化しますが、モード選択後、最短で約4時間（室温20℃以下の場合は約6時間）、最長で約12時間運転します。
- 床面を乾燥するため、自動的に「下吹出口」から送風します。また、お好みのスイング方向に変えることもできます。「下吹き」以外で使用するときは、本体の向きを調整してください。
- 風量を自動で切換える運転ですので、風量を設定することはできません。他の運転との併用もできません。

使用のめやす

除湿する場所	広さ	
浴室（浴室＋脱衣室）	〜4畳（浴室＋脱衣室の広さ）	
部屋	50Hz	〜13畳
	60Hz	〜15畳

より効果的に運転するために、上記の範囲でお使いください。

どうやってカビの発生を抑制するの？

カビは菌糸の状態で乾燥させると、新しい胞子（植物の種子に相当するもの）を作れなくなります。
「浴室カビガード」運転は、このことを応用しています。
（ただし、胞子は乾燥には強いです）

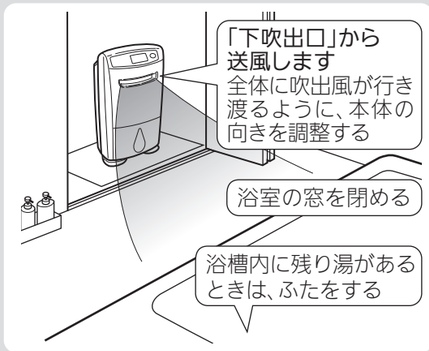
クロカビにて検証
一般社団法人 カビ予報研究室　試験データ

お知らせ

- 運転中は部屋の窓や扉を閉め、換気をせずにお使いいただくと効果的です。
- 浴室が広いときや、浴室の床・壁の材質によっては、十分な効果が得られないことがあります。
- 水がたまりやすい場所には水滴が残ることがあります。
- 部屋の条件やカビの種類によっては、カビが発生する場合があります。
  ＜例＞浴室では容器の下など、室内では押入れの奥・家具の裏側などの空気の流れが悪い場所
- 浴槽の内側や容器の下など、風が当たらない場所を乾かすことはできません。
- すでに発生しているカビを除去することはできません。

設置のしかた

除湿機の前面を浴室に向けて脱衣所（浴室の入口）に設置します。
（浴室内には設置しないでください）



⚠ 注意

水ぬれ禁止

浴室など水のかかりやすい場所で使用しない、水洗いしない
水がかかると漏電火災や感電の原因

「強」運転

強力に連続で除湿したいときにおすすめです。

風量「強」で連続運転をします。

「弱」運転

運転音を抑えて連続で除湿したいときにおすすめです。

風量「弱」で連続運転をします。

設置のしかた

除湿機の背面をクローゼットや押し入れなどに向けて使用します。

「湿度設定」運転

湿度を設定して運転したいときにおすすめです。

設定した湿度を保つよう、自動で風量を切換えて断続運転をします。

（湿度設定）を押して湿度を選んでください。

- 現在湿度が設定湿度より低くなると、除湿運転を停止します（送風・ルーバーが停止）。
  設定湿度より高くなると運転を再開します。
- 運転開始後と再開後約6〜10分間は、部屋の湿度にかかわらず運転します。

お知らせ
部屋の扉の開閉が多いときや、部屋の広さ・状態によっては、湿度が下がりきらない場合があります。

設置のしかた

除湿機を部屋の中に置いて使用します。
（背面を壁に近づけすぎないようにしてください P8）

＜設定した湿度を確認する＞

（湿度設定）を押す ピッ

- 約3秒間表示したあと、現在湿度に切換わります。

「冬モード」運転

室温が15℃以下のとき（マーク点灯時）におすすめです。

室温に応じて風量を切換え、連続運転します。
約15℃以下では風量が最大になります。
液晶表示部に「」を表示中は、「冬モード」をおすすめします。
「冬モード」運転中は「」表示が消えます。

＜冬期の除湿には「冬モード」をおすすめします＞
気温の低い冬期は、空気中に含まれる水分が少ないため、梅雨時期に比べて除湿量が大幅に減ります。気温が低くても雪・雨などにより湿度が高いときは、「冬モード」で運転すると「強」に比べて除湿量が増えます。

設置のしかた

冬の窓の結露防止には、除湿機の背面を窓に向けて使用します。

各運転モードの運転のしかた

運転モード	自動停止	連続運転
自動除湿	―	△※
浴室カビガード	○（4〜12時間運転）	―
強	―	○
弱	―	○
湿度設定	―	△※
冬モード	―	○

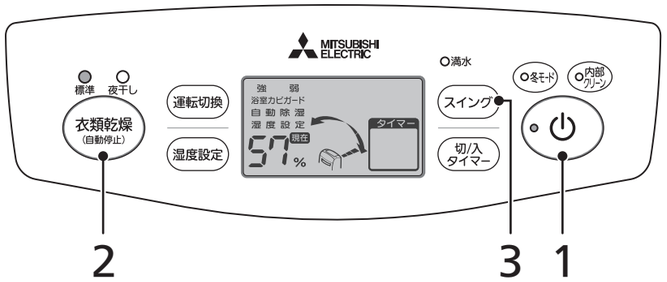
お知らせ

- タンクが満水になると運転を停止します。運転を再開する場合は、タンクの水を捨ててください。
- 「浴室カビガード」以外の運転時は切り忘れ防止のため、最後に操作してから12時間経過すると自動で停止します。P7

※室温・湿度により断続運転をします。
（送風ON/OFF、圧縮機ON/OFFなどをしながら運転します）

衣類乾燥のしかた

洗濯物が乾く頃を推測して自動で停止します。「標準」「夜干し」から選べます。

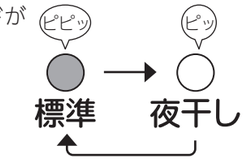


1 を押し、運転を始める

- 運転ランプ点灯
- 運転モードを表示
- ルーバーが開き、送風開始

2 衣類乾燥(自動停止) を押し、「標準」または「夜干し」を選ぶ

- 押すごとに運転モードが切換わる
- 選んだ運転モードのランプが点灯し、運転開始



- 「ピーピーピーピーピー」と鳴り、自動で運転停止
(「夜干し」時は鳴りません)

3 スイング を押し、スイング方向を選ぶ P14

<途中で運転を止めたいとき>

ピー を押し、運転を止める

- 運転ランプが消灯
- 運転モードの表示が消える

「標準」「夜干し」運転(自動停止)

お部屋の湿度をみはりながら風量を制御し、洗濯物が乾く頃を推測し、自動で停止します。約1時間半～最長で約12時間運転します。

使用のめやす

お部屋の広さ	洗濯物の量
～10畳	約6kgまで

効率良く乾かすために、上記の範囲でお使いください。

- **標準**
洗濯物を速く乾かしたいときにおすすめです。
- **夜干し**
夜間など運転時の送風音が気になるときにおすすめです。
「標準」よりも乾燥に時間がかかります。

各運転モードの運転のしかた

運転モード	自動停止
標準	○(1時間半～12時間運転)
夜干し	○(1時間半～12時間運転)

お知らせ

- この除湿機は、運転モードを記憶しています。運転「切」にしても、次回は前回と同じ設定で運転を始めます。
- 「標準」「夜干し」では、湿度を設定することはできません。湿度設定スイッチを押すと、「湿度設定」に切換わります。P9
- 室温が約5℃以下のときは水分が蒸発しにくく洗濯物が乾かないため、1時間半程度で運転を停止することがあります。
この場合は「冬モード」でお使いください。P9
- タンクが満水になると、「標準」では運転を停止し、「夜干し」では除湿を停止して送風します。運転を再開する場合は、タンクの水を捨ててください。
- 「切タイマー運転」と併用すると、乾く前に停止することがあります。また、自動運転のため、切タイマーの設定時間より前に停止することがあります。
- 内部クリーン運転(自動)を設定している場合、運転停止後に内部クリーン運転をします。P16

干しかたのポイント

干しかた

- 洗濯物のシワをしっかり伸ばす
- 風がよく通るように間隔をあけて干す
(間隔のめやす:約5cm)
- 乾きにくいものは、よく風が当たる位置に干す
洗濯物が重なっているところは、乾くまでに時間がかかります。

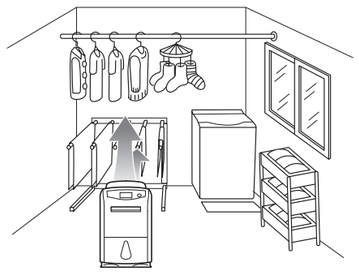
<次の場合、乾燥時間が長くなります>
- 洗濯物の量が多いとき
- 室温が低いとき
低温時(約10℃)は、常温時(約20℃)の2倍程度の乾燥時間がかかります。
- お部屋が広いとき

除湿機の置きかた

- 洗濯物に除湿機の背面を向けて置く
除湿機の上面から背面側に向かって風が出ます。

風の当てかた

- ルーバーを使って洗濯物全体に風を当てる P14
風が当たらないところは、乾くまでに時間がかかります。
- 洗濯物の量が多いときは
干す場所を途中で入れ替えて、風を当ててください。



洗濯物を干す部屋について

- 小さい部屋に干し、閉め切って除湿する
効率よく除湿でき、速く乾きます。
- 冬期など室温が低いときは
「冬モード」で運転し、暖房機を併用して室温を約16℃以上にすると、乾きやすくなります。

こんな日は、除湿機を使った部屋干しがおすすめです。

●くもりや雨の日

湿度が高い日は、水分が蒸発しにくいため、外に干しても乾くのに時間がかかります。

●花粉や砂ボコリの多い日

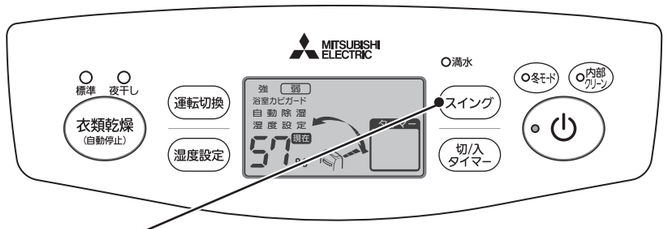
洗濯物を室内に干せば、花粉などの汚れの付着を防ぐことができます。

●日中に洗濯物を取り込めない日

日が暮れて外の空気が冷えてくると、せっかく乾いた洗濯物も、湿気を吸ってひんやりしてしまいます。

ルーバーの使いかた

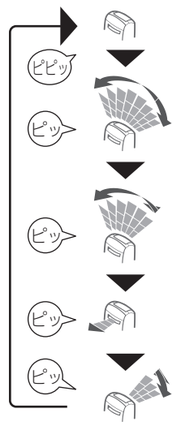
ルーバーをスイングさせることができます。お好みの向きを選んでお使いください。



運転中に (スイング) を押して、スイング方向を選ぶ

スイングモニターは、ルーバーがスイングする範囲を表示します。(ルーバーの動きとモニターの動きは一致しません)

● 押すごとにスイング方向が切換わる



スイング停止
ワイド
上吹き
下吹き
背面

スイング方向	スイング説明
● スイング停止	ルーバーが停止し、スイングモニターが消灯します。 ルーバーが停止してから手で角度を調節してください。
● ワイドスイング 約120°	部屋のすみずみまで風を送るように、上向きから背面方向までスイングします。 送風範囲は約135°です。(ルーバーの動作範囲は約120°)
● 上吹きスイング 約90°	衣類などの乾燥におすすめです。 スイングスピードを自動で切換えて、 洗濯物全体に風が当たるようにスイングします。 一定の速度でスイングすると、上方向に比べて背面の衣類に風が当たる時間が短くなるため、図の30°の間はゆっくりスイングします。 60° 30°
● 下吹き	畳やふとんの除湿・スニーカーなどの乾燥におすすめです。 下吹出口から送風します。スイングはしません。 下吹きルーバーを手で動かして角度を調節してください。 (3段階に調節可能) ルーバーが少し開いて吹出し方向を調節しますので、 ルーバーを閉じないでください。 下吹きルーバーの端を持って動かす
● 背面スイング 約50°	本体背面側に風を送るようにスイングします。 ルーバーの角度により、下吹出口からも多少の風が出ます。

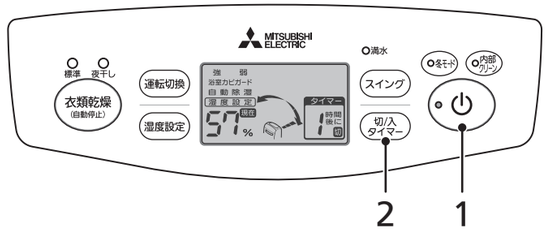
お知らせ
- 吹出し方向によって、風を吹出す音の大きさが変化します。
- 位置合わせのために、ルーバーが最長で8秒程度止まることがありますが、その後動き出します。
- 吹出風は空気中のチリを巻込むため、吹出風が壁に直接あたると、壁にチリが付着して汚れることがあります。
- スイング方向は記憶しますが、お好みで止めた角度は記憶しません。次回運転時は初期設定(上向き)に戻ります。
- ルーバーを動かす歯車のかみ合わせにより、動作が滑らかでないことがあります。

お願い
スニーカーを乾かすときは、風が当たりやすいように床から少し高い位置にスニーカーを置いてください。

タイマーの使いかた

切タイマー運転

運転する時間を、1〜9時間内で設定できます。
運転「入」のときに設定してください。



1 (⏻) を押し、運転「入」にする

お好みの「運転モード」と「スイング方向」を設定してください。 P9〜14

2 (切/入タイマー) を押して、運転時間を選ぶ

ピッ …… ピッ ピピッ
1 → 2 ··· → 8 → 9 → 表示なし

- 1時間経過するごとに、残り運転時間表示が1時間ずつ減少します。
- 設定した時間が経過すると、運転を停止し、ルーバーが自動で閉じます。

<タイマーを途中で解除したいとき>

■運転を終了したいときは

(⏻) を押す (運転「切」)

■切タイマーを解除し、続けて運転したいときは

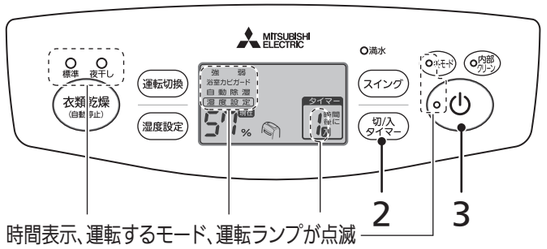
残り時間の表示が消えるまで、
切/入タイマースイッチをくり返し押す

お願い
タイマー運転をするときは、タンクの水を捨ててから運転してください。タンクが満水になると運転を停止するため、除湿できません。衣類乾燥「夜干し」運転中は、タンクが満水になると除湿を停止し、送風のみをします。

お知らせ
- 「切タイマー」と「入タイマー」は、同時に設定できません。
- 内部クリーン運転中は、切タイマーを設定できません。
- 切タイマー運転中に停電した場合は、復帰しても切タイマー運転は継続されません。運転「切」の状態になります。

入タイマー運転

運転を始める時間を、1〜9時間内で設定できます。
運転「切」のときに設定してください。



1 運転「切」(運転ランプ消灯)になっていることを確認する

2 (切/入タイマー) を押して、運転開始時間を選ぶ

ピッ …… ピッ ピピッ
1 → 2 ··· → 8 → 9 → 表示なし

お好みの「運転モード」と「スイング方向」を設定してください。 P9〜14

3 (⏻) を押して、運転開始時間を確定する

- 運転ランプ・時間表示が点灯し、入タイマー予約が完了します。
  時間表示・運転表示の点滅とアラームで、運転スイッチの押し忘れをお知らせします。
  (「ピッピッピッピッ・・・」と1分間鳴ります)
- 1時間経過するごとに、運転までの残り時間表示が1時間ずつ減少します。
- 設定した時間が経過すると、運転を開始します。

<タイマーを途中で解除したいとき>

(⏻) を押す (運転「切」)

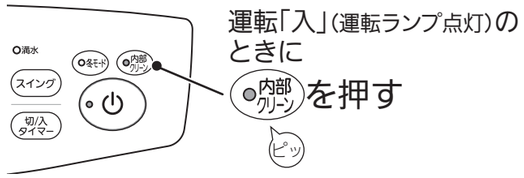
お知らせ
- 内部クリーン運転中に入タイマーを設定すると、内部クリーン運転が解除されます。
- 入タイマー設定中に停電した場合は、入タイマーは解除され、運転は開始しません。
- 市販のタイマー式コンセントでは、入タイマー運転をすることはできません。

内部クリーン運転のしかた

本体内部の湿気を乾燥させることで、冷却器でのカビの発生を抑制します。運転時間は約1時間です。
運転後は、1日1回をめやすに内部クリーン運転（内部乾燥運転）することをおすすめします。
ただし、連続排水（ホースをセット）して連続運転している場合は、内部クリーン運転する必要はありません。
運転を停止したときに行ってください。

自動で運転する

運転終了後に毎回内部クリーン運転をします。



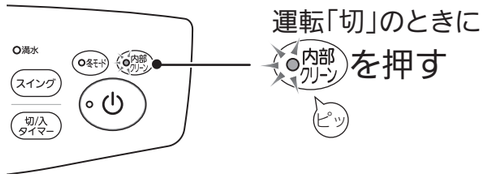
● 運転終了後、内部クリーンランプが点滅し、内部クリーン運転を開始します。
約1時間で終了します。

<自動運転を解除したいとき>

■運転「入」（運転ランプ点灯）のときに、内部クリーンスイッチを押す ピピッ
（内部クリーンランプ消灯）

手動で運転する

運転していないときに 内部クリーン を押すと、内部クリーン運転をします。



● 内部クリーンランプが点滅し、内部クリーン運転を開始します。
約1時間で終了します。

<内部クリーン運転を途中で解除したいとき>

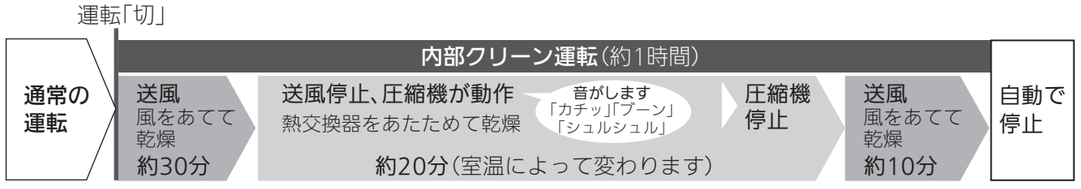
■内部クリーンスイッチを押す ピー
（内部クリーンランプ消灯）

お知らせ
- 停電時や電源プラグを抜き差ししたあとは、自動運転は解除されます。
- すでに発生しているカビを取り除くことはできません。また、内部クリーン運転を途中で解除すると、効果が得られない場合があります。
- 本体内部にこもった湿気を放出するため、室内の湿度が上がることがあります。
- 室内の温度・湿度により、放出された湿気が白く見えることがあります。
- 満水ランプ点灯中、運転が停止しているときは、内部クリーン運転を設定することはできません。
- 満水で停止した場合は、運転「切」にしないと内部クリーン運転をしません。

お願い 内部クリーン運転中は、ルーバーを閉じないでください。騒音の原因になります。

<内部クリーン運転の内容>

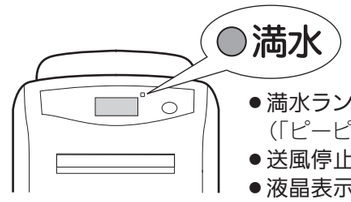
内部クリーン運転は、約1時間で終了します。
ただし、室温が1℃未満のときは、圧縮機を保護するために運転時間が短くなります。



排水のしかた

タンクが満水になると、自動的に運転を停止し、ランプの点灯と音でお知らせします。タンクの水を捨ててください。
- 満水になるとタンクが重くなるため、水位窓を見て、タンクが満水になる前に水を捨てることをおすすめします。
- タンクの「満水」表示、水位目盛はめやすです。

タンクが満水になると、「満水ランプ」が点灯します。

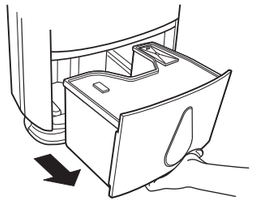


- 満水ランプ点灯
（「ピーピーピー」と音がします）
- 送風停止（ルーバー停止）
- 液晶表示が消える

お知らせ
- 排水後、タンクを戻すと満水ランプが消灯し、運転を再開します。運転を再開してから12時間経過すると、切り忘れ防止機能で自動停止します。P7
- 満水ランプ点灯中は、運転「切/入」以外の操作はできません。
- 切タイマー運転中は、満水ランプの点灯のみでお知らせします。

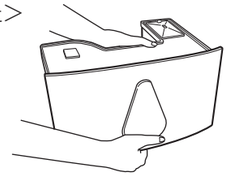
<「夜干し」で運転しているときは>
- タンクが満水になると除湿を停止し、送風のみをします。
満水ランプは点灯しますが、音は鳴りません。
また、タンクを取り出しても送風を続けます。

1 本体をおさえながら、タンクを取り出す

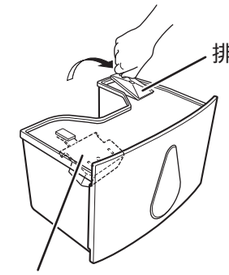


取っ手に手をかけ、水をこぼさないように、まっすぐ静かに取り出す

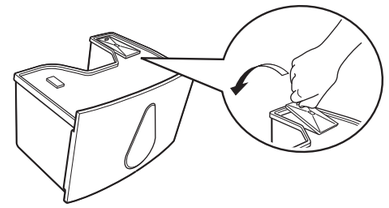
<タンクの持ちかた>



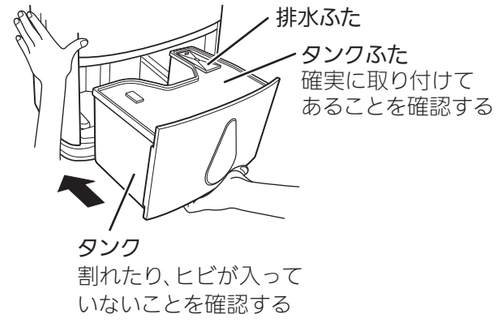
2 排水ふたをはずし、水を捨てる



3 排水ふたを取り付ける



4 本体をおさえながら奥までしっかり押し込む



●「ピッ」と音がして、満水ランプ消灯

お知らせ タンクが正しく入っていないと、満水ランプが点灯して運転できません。

お願い
- 排水ふた・タンクふたを確実に取り付けてください。取り付けていないと、タンクが取り出せないことがあります。
- タンクの中のフロートをはずさないでください。はずすと満水を検知できなくなって水もれしたり、本体が正常に動作しなくなる原因になります。

連続排水のしかた

近くに排水できる場所があれば、市販のホース（内径15mm）を使って連続排水ができます。満水で停止することがないので排水の手間がなく、また、長時間運転できます。運転中に停電した場合は、復帰すると停電前の運転モードで運転を再開します。

12時間以上運転したいときは、切り忘れ防止機能をOFFにしてください。
「強」「弱」「自動除湿」「湿度設定」「冬モード」運転時は切り忘れ防止のため、最後に操作してから12時間経過すると自動で停止します。**切り忘れ防止機能をOFFにしてお使いください。** P7

準備するもの	● 市販のホース（内径15mm） 除湿機から排水場所までの長さを用意する

⚠ 注意

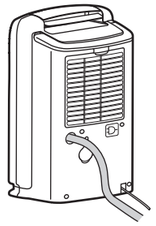
禁止

ホースの周囲が氷点下になる場所で連続排水しない
ホース内部の水が凍結し、除湿した水がもれて家財などをぬらす原因

指示を守る

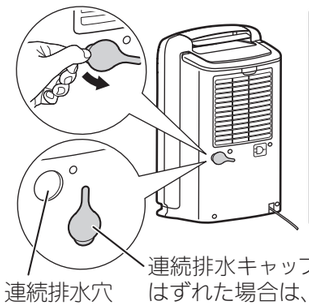
連続排水するときや、無人で長時間使用するときは、2週間に1回程度点検する
エアフィルターやホース内に異物や汚れがつまると、除湿運転をしなくなったり、水もれの原因
- 点検時は異常がなければホースをはずす必要はありません。以下の場合はホースを点検してください。
  - ・除湿機のタンクに水がたまっている
  - ・本体の外に水がもれている

完成図



準備 運転スイッチを「切」にし、電源プラグを抜く

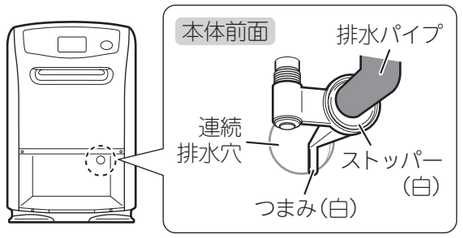
1 連続排水キャップを開ける



2 タンクを取り出す

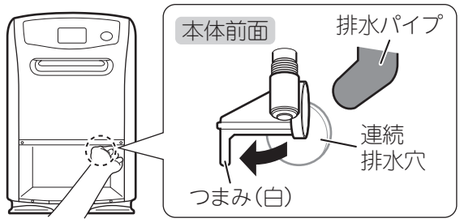
3 排水パイプをふさいでいるストッパーを動かして、ホースを差し込む

①本体前面の奥にある排水パイプ・ストッパー・つまみを確認する

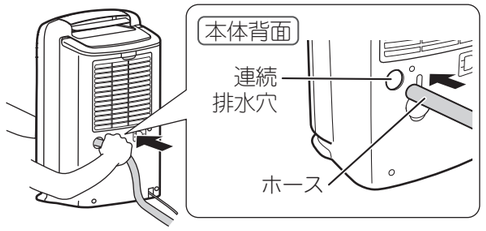


②ストッパーを開けたまま、ホースを連続排水穴に通し、排水パイプに差し込む

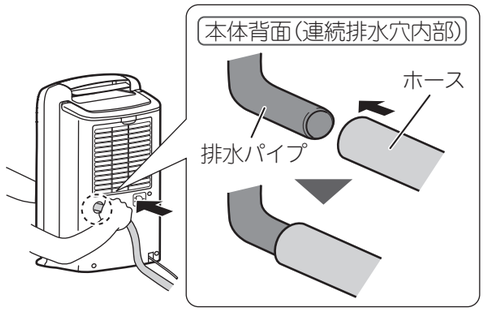
左手でつまみを動かしてストッパーを開けたまま…



右手でホースを本体背面の連続排水穴に通し…

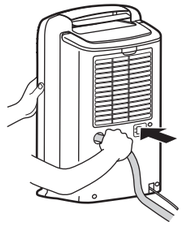


ホースを排水パイプにまっすぐ差し込む



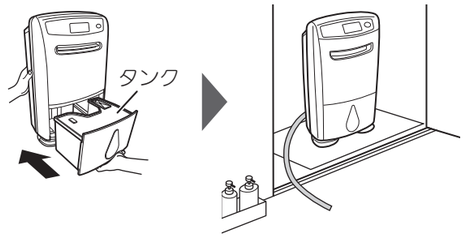
3 （つづき）

③本体をおさえながら、ホースを奥までしっかり押し込む



④ホースを軽く引っ張って抜けないことを確認する

4 タンクを本体に取り付け、ホースの先を排水場所へ設置する



タンクを戻さないと「満水ランプ」が点灯し、運転できません。

排水ホースの設置例

正しい設置例	誤った設置例
	禁止 ホースが水につかっている 禁止 ホースが排水口より高くなっている 禁止 ホースが段差を乗り越えている ● 排水できません。 ● タンクに水がたまり、満水になると停止します。

お願い
- ホースのつまりや折れ曲がり、ひび割れなどの劣化がないことを確認してください。
- ホースを入れるときに差し込みづらい場合は、水でぬらしてから入れてください。油や潤滑剤はぬらないでください。本体破損の原因になります。
- ホースをはずすときは、ホースを左右に回すとはずしやすくなります。
- 連続排水キャップを強く引っ張らないでください。本体破損の原因になります。
- 連続排水をやめる場合は、ホースをはずし、タンクを入れてお使いください。
- 移動するときはホースをはずしてください。

お手入れ

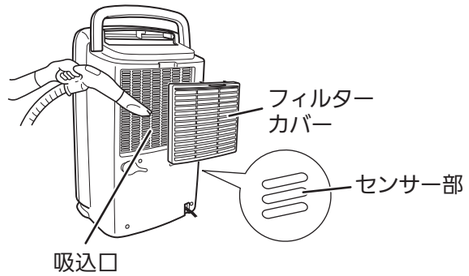
- 洗剤・熱交換器用洗浄剤・みがき粉・化学ぞうきん・アルコール・次亜塩素酸ナトリウム・ガソリン・ベンジン・シンナーなどは使用しないでください。
  タンクや本体を傷め、水もれの原因になります。
- お手入れの前に運転スイッチを「切」にし、電源プラグを抜いてください。

2週間に1回程度

吸込口・フィルターカバー・エアフィルター・センサー部

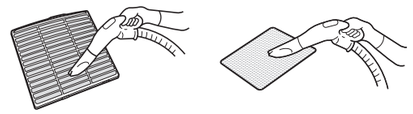
ほこりなどでフィルターカバーが目詰まりすると、除湿の効率が悪くなります。2週間に1回程度、お手入れしてください。フィルターカバーは破損や破れがないかぎり、交換不要です。

1 フィルターカバーをはずし P8、吸込口・センサー部の汚れを掃除機で吸い取る



2 フィルターカバーからエアフィルターを取り出す

3 汚れを掃除機で吸い取る



汚れがひどい場合は、水またはぬるま湯で洗い流し、よく乾燥させる

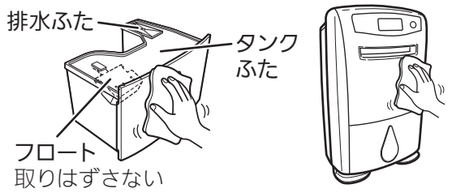
4 エアフィルター・フィルターカバーをセットする P8

お手入れ（つづき）

汚れたとき

タンク・本体

柔らかい布でからぶきする



- 空気中のチリを吸い込むことにより、排水ふた・タンク内側が**黒ずむことがあります**。汚れが落ちないときは、水またはぬるま湯で洗い、乾いた布でふいてください。
- お手入れが不十分な場合、タンクにカビなどが発生することがあります。しばらく使用しない場合は、タンクの水を捨てて、残った水滴をふき取ってください。
- タンクをお手入れしたあとは、タンクふたを取り付けてから本体にセットしてください。

3ヵ月に1回程度

エアフィルター（つけおき洗い）

つけおき洗いをすることで、エアフィルターについた細かいチリやニオイ成分を落とします。

1 フィルターカバーをはずし、エアフィルターを取り出す P8

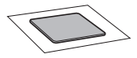
2 エアフィルターをつけおき洗いする

水またはぬるま湯で、30分程つけおき洗いをする

洗剤・熱湯を使用しないでください。
また、ブラシなどでこすったり、もみ洗いをしないでください。エアフィルター破損の原因になります。

- 表面に多少の黄ばみ・黒ずみが残っていても、効果に影響はありません。
- つけおき洗いの限度は8回程度です。8回つけおき洗いをしたら、新しいエアフィルターと交換してください。

3 エアフィルターを乾かす



平らな場所で乾かす

洗濯バサミなどでつるさないでください。
エアフィルター破損の原因になります。
ぬれたままのエアフィルターは使用しないでください。

4 エアフィルター・フィルターカバーをセットする P8

保管のしかた

運転停止後、約1日おいて本体内部についた水が落ちきってから、下記の作業をしてください。

1 内部クリーン運転をする P16

本体内部のカビ予防のために、内部クリーン運転をおすすめします。

2 電源コードをまとめ、バンド掛けにかける

3 排水し、お手入れする

タンクの水を捨てて、残った水滴をふき取る

4 フィルターカバー・エアフィルターを掃除する

汚れを掃除機で吸い取る P19

5 収納する

- 本体を十分乾燥させてから、ほこりよけの布などをかぶせる
- 湿気が少なく直射日光の当たらない場所に、立てたまま保管する

消耗部品の交換

エアフィルター・タンクは消耗部品です。
交換時期がきたり、汚れがひどくなったり、破損したときは、お近くの三菱電機ストアか取扱店でお求めください。

エアフィルターの交換

寿命のめやすは2年ですが、使用環境・使用状況により異なります。次の場合は交換してください。

- つけおき洗いを8回したとき
- エアフィルターが、たばこの煙などで茶色くなったり、ほこりで黒ずんだとき

本体からフィルターカバーをはずし、エアフィルターを交換する P8

消耗部品

- **交換用 トリプルバリアフィルター**
  - ・形　　名　MJPR-830VFT
  - ・形名コード　5C5 830
- **タンク組立**（タンク・排水ふた・タンクふた・フロートのセット）
  - ・部 品 番 号　M22 E14 345

※当社は、この除湿機の消耗部品を製造打切り後8年保有しています。

故障かな？と思ったら

●下記の状態については、処置（操作）方法にしたがってください。

	現象（症状）	原因の確認	処置（操作）方法	
運転	タンクに水がたまらない（除湿量が少ない）	温度・湿度が低くなっていませんか。	室内の温度・湿度が低いときは、除湿能力が低下します（冬期など室温が低いときは、湿度が高くてもタンクに水がたまりにくくなります）。故障ではありません。部屋の湿度が高いことを確認してもう一度運転してください。	
運転	運転が止まる	「自動除湿」「湿度設定」で運転していませんか。	お部屋の温度・湿度・設定湿度によって、除湿・送風・停止を自動で切換えています。	
運転	運転が止まる	「浴室カビガード」で運転していませんか。	湿度が下がると自動で停止します。最短では約4時間で停止します。	P10
運転	運転が止まる	「強」「弱」「湿度設定」「快適見守り」「冬モード」「エコ静音」運転時は切り忘れ防止のため、最後に操作してから12時間経過すると自動で停止します。		P7
運転	短時間で運転が止まる	衣類乾燥「標準」「夜干し」で運転していませんか。	室温が約5℃以下の場合、約1時間半で停止することがあります。室温が低いと洗濯物から水分が蒸発しにくくなり、湿度がかわらないためです。	P12
運転	満水ランプが点灯しているのに、運転が止まらない	衣類乾燥「夜干し」で運転していませんか。	タンク満水時は除湿を停止し、送風します。	P12
運転	運転「切」にしたのに、運転が止まらない	内部クリーン運転を設定していませんか。	運転を終了したあと、自動で内部クリーン運転をします。	P16
運転	運転「入」にしてもすぐに運転しない	運転停止直後や電源プラグを差し込んだ直後には、圧縮機は動きません（圧縮機の保護のためです）。運転スイッチを入れてから約3分以内に圧縮機が動いて除湿を始めます。除湿を始めると運転音が大きくなります。		
運転	ルーバーが設定どおりに動かない	スイングスイッチを押し直してください。		P14
運転	温風が出る	除湿した空気は放熱器を通るため、吹出風は温風になります（冷房機能はありません）。故障ではありません。		
ニオイ	使い始めに吹出風が臭う	本体内部にあるプラスチック等の部品が臭うことがありますが、ご使用とともになくなります。故障ではありません。		
ニオイ	内部クリーン運転中に吹出風が臭う	放出された湿気が臭うことがあります。ニオイ成分が本体内部の水分に吸着するためです。故障ではありません。		
音	運転音がうるさい・ひびく	設置が悪く、本体が傾いたり、ガタガタしていませんか。	水平で丈夫な場所でご使用ください。	P4
音	運転音がうるさい・ひびく	板の間や狭い部屋で運転すると、ひびくことがあります。マットなどを敷いてご使用ください。		P8
音	運転音がうるさい・ひびく	エアフィルターが目詰まりしていませんか。	お手入れしてください。	P19~20
音	風切音の大きさが変化する	ルーバーの角度により、音の大きさが変化します。		P14
音	急に運転音が大きくなる※	圧縮機が動き始めるとき（スイッチを入れて約3分後、または「自動除湿」「湿度設定」で運転中）に、音が大きくなります。		
音	「ブーン」「コロコロ」という音が、したり止まったりする※	圧縮機が動いている音です。自動で湿度をコントロールする運転や、内部クリーン運転では、断続運転をするため音がしたり止まったりします。また、運転スイッチを押してから約3分間は、圧縮機は動きません（圧縮機の保護のためです）。		
音	「シュルシュル」「ゴーゴー」という音がする※	冷媒が流れる音です。運転開始時・運転切換時・運転停止後しばらくは、冷媒の循環が安定するまで、冷媒の音がすることがあります。		

※当社ホームページ「よくあるご質問FAQ」で運転音を聴くことができます。P22

故障かな？と思ったら（つづき）

	現象（症状）	原因の確認	処置（操作）方法
ルーバー	ルーバーが開いた状態で止まっている	運転ランプが点灯しているときは断続運転中です。 運転が終了すると、ルーバーは閉じます。	
タンク	タンク内に、液体または白い蒸発跡がある	工場での除湿テストによる残り水、または水の蒸発跡です。異常ではありません。	
タンク	排水ふたやタンク内に、こげたような黒い跡がある	空気中のチリによる汚れです。	お手入れしてください。 P20
表示	霜取 表示している	霜取運転中ではありませんか。	室温が15℃以下になると霜取運転をします。 霜取運転中は除湿・送風を停止します。 P5
表示	○満水 点灯している	タンクが正しく入っていますか。	タンクをセットし直してください。 P8
表示	冬モードランプが消えない	前回の運転モードを記憶しているため、「冬モード」で運転すると、次回運転時も冬モードランプが点灯します。他の運転モードに切換えると冬モードランプは消えます。	
その他	なかなか湿度が下がらない	お部屋が広すぎませんか。	除湿可能床面積（適用床面積）の範囲でお使いください。 裏表紙
その他		窓や出入口の開閉が多くありませんか。	なるべく部屋を閉め切った状態でご使用ください。
その他	除湿機の現在湿度表示と、他の湿度計の表示がちがう	同じ部屋でも場所によって湿度差があるためです。 湿度表示はめやすとしてお使いください。 P5	
その他		エアコンなどの空調機の風が湿度表示に影響することがあります。	
その他	電源プラグやコンセントが異常に発熱する	使用を中止し、お買上げの販売店にご連絡ください。	

●エラー表示（湿度表示部）

デジタル表示	原因の確認	処置（操作）方法
A2、A3、A6	電源プラグが確実にコンセントに差し込まれていますか。	電源プラグをコンセントに入れ直してください。
A1、E0～E8、P4	故障です。	電源プラグをコンセントから抜き、お買上げの販売店に表示部の英数字をご連絡ください。

以上のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてください。
故障の状況と表示部の英数字を、お買上げの販売店にご連絡ください。

当社ホームページ「よくあるご質問FAQ」もご活用ください。
https://faq01.mitsubishielectric.co.jp/

当社ホームページ「よくあるご質問 動画集」で取り扱いについて説明しています。
https://www.mitsubishielectric.co.jp/ldg/faqmovie/

保証とアフターサービス

■保証書（別添）

- 保証書は、必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。保証書は内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保証期間
お買上げ日から1年です。
ただし、冷媒回路は3年です。
冷媒回路とは圧縮機、キャピラリーチューブ、冷却器、放熱器、パイプ（銅管）を示します。
保証期間内でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

■補修用性能部品の保有期間

- 当社は、この除湿機の補修用性能部品を製造打切り後8年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

- お買上げの販売店か下記の「三菱電機　ご相談窓口・修理窓口」にご相談ください。

■修理を依頼されるときは（出張修理）

●「故障かな?と思ったら」（取扱説明書記載　21～22ページ）にしたがってお調べください。
- なお、不具合があるときは、電源スイッチを切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買上げの販売店にご連絡ください。

●保証期間中は
保証書の規定にしたがって、修理させていただきます。
なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

●保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
点検・診断のみでも有料となることがあります。

●修理料金は
技術料+部品代（+出張料）などで構成されています。
- 技術料…製品の点検や故障した製品を正常に修復するための料金です。
- 部品代…修理に使用した部品代金です。
- 出張料…お客様のご要望により、製品のある場所へ技術員を派遣する費用（出張料）や有料駐車場の費用（駐車料）を別途いただく場合があります。

●修理部品は
部品共用化のため、色等を変更する場合があります。

●ご連絡いただきたい内容

1. 品　　名　三菱 衣類乾燥 除湿機
2. 形　　名　MJ-P180ZX
3. お買上げ日　　年　　月　　日
4. 故障の状況　（できるだけ具体的に）
5. ご　住　所　（付近の目印なども）
6. お名前・電話番号・訪問希望日

■この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。
また、アフターサービスもできません。

ご相談窓口・修理窓口のご案内（家電品）

取扱い・修理のご相談は、まず
お買上げの販売店へ

●お買上げの販売店にご依頼できない場合（転居や贈答品など）は、各窓口へお問い合わせください。

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて
三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。
1.お問合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
2.上記利用目的のために、お問合わせ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。
3.あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
②法令等の定める規定に基づく場合。
4.個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

ご相談窓口　家電品の購入相談・取扱い方法　受付時間365日24時間

●三菱電機お客さま相談センター
いつもサンキュー　365日
フリーダイヤル 携帯OK **0120-139-365**（無料）
■ご相談対応　平　日　9：00～19：00
土・日・祝・弊社休日　9：00～17：00
上記以外の時間は受付のみ可能です。

〒154-0001　東京都世田谷区池尻 3-10-3
フリーダイヤル **FAX 0120-365-088**（無料）
フリーダイヤルをご利用いただけない場合は
TEL 03-3414-9655　FAX 03-3413-4049

修理窓口　家電品の修理の問合せ・修理の依頼　受付時間365日24時間

●三菱電機修理受付センター
パソコン・スマートフォン **www.melsc.co.jp/support/**
こちらから簡単にアクセスできます。
フリーダイヤル **0120-56-8634**（無料）

携帯電話の場合
ナビダイヤル **TEL 0570-01-8634**（有料）
ナビダイヤル **FAX 0570-03-8634**（有料）

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。
K24A
●電話番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

こんなとき

仕様

形名			MJ-P180ZX	
除湿方式			コンプレッサー式	
電源			交流100V 50/60Hz	
除湿能力※1			50Hz	60Hz
			15.5L/日	18.0L/日
消費電力※2		室温30℃	360W	425W
		室温27℃	330W	390W
除湿可能床面積のめやす	強※3	一戸建住宅(木造) 和室	～19畳(～32m²)	～23畳(～38m²)
		一戸建住宅(プレハブ) 洋室	～29畳(～49m²)	～35畳(～57m²)
		集合住宅(コンクリート・軽量コンクリート造り) 洋室	～39畳(～64m²)	～45畳(～75m²)
	自動除湿※4	一戸建住宅(木造) 和室	～13畳(～21m²)	～15畳(～25m²)
		一戸建住宅(プレハブ) 洋室	～19畳(～32m²)	～23畳(～38m²)
		集合住宅(コンクリート・軽量コンクリート造り) 洋室	～26畳(～43m²)	～30畳(～50m²)
排水タンク容量			約4.7Lで自動停止	
質量			15.2kg	
外形寸法(高さ×幅×奥行)			594mm×372mm×281mm	

※1 除湿能力は室温27℃、相対湿度60%を持続する室内で運転した数値です。1日(24時間)あたりの除湿量を示します。
※2 室温30℃のときは電気用品安全法に基づく数値です。室温27℃のときはJIS C9617に基づく数値です。
※3 強運転時の除湿可能床面積のめやすは、一般社団法人 日本電機工業会(JEMA)規格(JEM 1411)に基づく数値です。
※4 自動除湿運転時の除湿可能床面積のめやすは、相対湿度を50%程度に保つ数値です。
●待機時電力は約0.9Wです。

廃棄のしかた

分解せずに、地域のゴミ捨て区分にしたがって処分してください。

フロンの見える化

■冷媒に関するご注意
この家庭用除湿機にはCO_2(温暖化ガス)400kgに相当するフロン類が封入されています。地球温暖化防止のため修理・廃棄等にあたっては冷媒フロン類の適切な処理が必要です。お住まいの地域の方法に従い廃棄してください。フロン類に関するお問合せは「三菱電機ご相談窓口」までお願いします。P23

愛情点検

●長年ご使用の除湿機の点検を!

当社は、この除湿機の補修用性能部品を製造打ち切り後8年保有しています。

こんな症状はありませんか	ご使用中止
●本体・電源コード・プラグが異常に熱い。 ●運転中異常な音や振動がする。 ●コゲ臭い。 ●ブレーカーがひんぱんに落ちる。 ●その他の異常や故障がある。	事故防止のため、スイッチを切り、電源プラグを抜いてから、販売店に点検・修理をご相談ください。

後日のために記録しておくと便利です。

お買上げ販売店名	電話
お買上げ日	年　月　日

三菱電機株式会社
三菱電機ホーム機器株式会社
〒369-1295　埼玉県深谷市小前田1728－1

ZT936Z281H01